

中国東北(北満州) 鉄道の旅「ハルビン・長春(新京)・黒河」の記憶 5

宮岸 清衛

長春は日本人が作った都市、バスに乗っていても郷愁を思わせる建築物が目に入った。南湖公園は昭和 21 年 3 月から引き上げる 8 月までエビやフナを採り売って糧を得た恩人の湖です。立派な「南湖公園」に生まれ変わっていました。

森と湖が美しい季節の変化が
楽しめ、春夏は湖面に映える柳
の緑が綺麗。湖畔の亭や橋が趣
を添えるそうだ。湖では釣りや
ボートや水泳、冬はスケート！



入り口は解放記念公園



敗戦の逃避行時食糧の糧を得た南湖大橋付近は狭い場所だったのかあ！

長春寸景



ねじり揚げパン油条やソーセージは昔の味



ホテル近くの太極拳風景



北大都会、長春の陽の傾きは早い

満州時代子供のズボンはお尻が割れていた、今も
あったお尻の割れたズボン
添乗員に聞きました。農村部
にはしっかりと、残っている
そうです。伝統ですかね！



これ等の自動車、我々一行で三つ共答えられた、仲間はいなかった。

文寺(孔子廟)「長春孔子廟」 中国の一人っ子政策がもたらしたのか日本より受験戦争は厳しく、受験生を抱える多くの親たちが長春孔子廟を 訪問、昔から伝わる方法「五体投地礼」で先祖の霊を供養して我が子の入試合格を祈願するお寺です。

丁度孔子祭りの正装練習日であり、我々を歓迎してくれて「教育」は大切です日本もそうでしょう、と写真撮影に協力してくれました。



チャッカリと仲間二人の日本人がいた。



椅子を出し記念写真に協力

中国は食の国と言われているが旧満州（東北地方）はあまり良くないらしいです、でもまあ、まあでした！



中国旅行では毎日3食ごと満腹になり胃薬が必要です、ビールは安く、太って帰りました。

長春世界彫刻公園は「彫刻都市」としても知られており、1997年から「中国長春国際彫刻作品招待展」が開催されています。同展には毎回世界各国から多くの彫刻芸術家が参加しており、かれらの作品を保存するために野外彫刻作品展覧館として「長春世界彫刻公園」が整備されています。しかしながら今回は屋内展示室が整備中であり参観出来ませんでした。屋外も広く彫刻の数も多くバスではとても参観不可能です。



電気バスは15分で1周

参観は徒歩で時間をかけて廻れば沢山の彫刻が参観出来ると思います。ツアー観光では無理かも？



我が同胞お買いものに奮戦



途中中国語の買い物会話を確かめようと、屋台の焼き芋屋に挑戦、上手に焼き芋も買え会話も写真撮影も成功したよう！

我が仲間が撮影した懐かしい一枚



この建物は旧白菊小学校。現長春教育委員会でした。黒河から避難して最初に泊った避難所、此処で妹昌子が階段を上った最初の右側の部屋で息を引きとった思わず。手を合わす。